

第16回九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議

活力ある地方創生を目指した地域新電力の挑戦

2020年2月19日
みやまパワーHD株式会社
代表取締役 磯部 達



人口減少・高齢化・活力減退

安定した雇用

若い世代の希望をかなえる

地域資源を活かす

安全・安心な暮らし



住みたい、住み続けたい
暮らしやすいまちづくり

**エネルギーを基盤にした
地域活性化**

電気代支払いによる
市外への富の流出
みやま市では
※年間約40億円～50億円

自由化前



一般電気事業者
(九州電力等)

電力販売



一般家庭・公共施設・工場など

電力販売の**地域独占**
料金は政府の**認可制**

自由化後



一般電気事業者
(九州電力等)

電力販売

競争



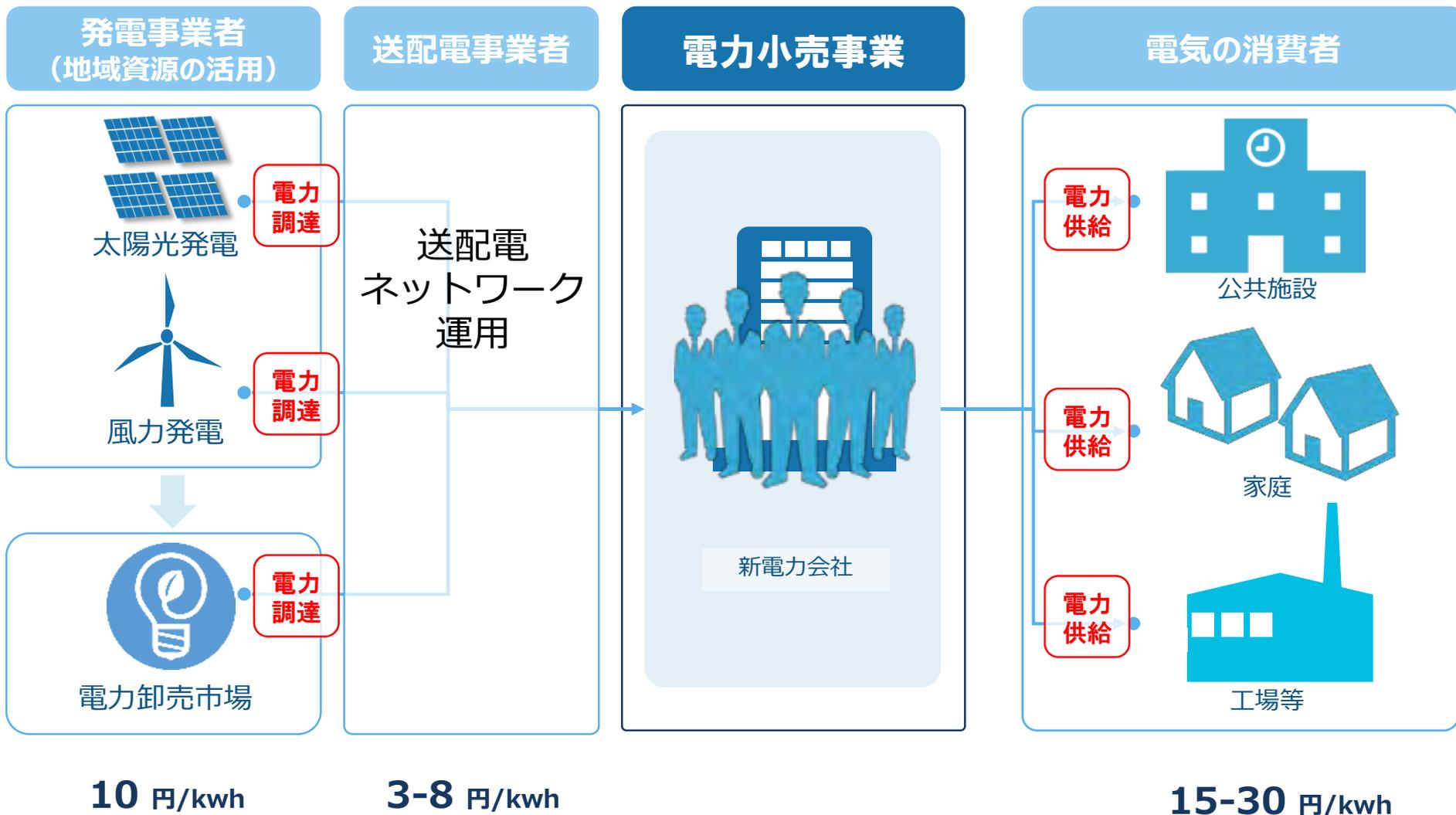
新電力事業者
(新規参入)



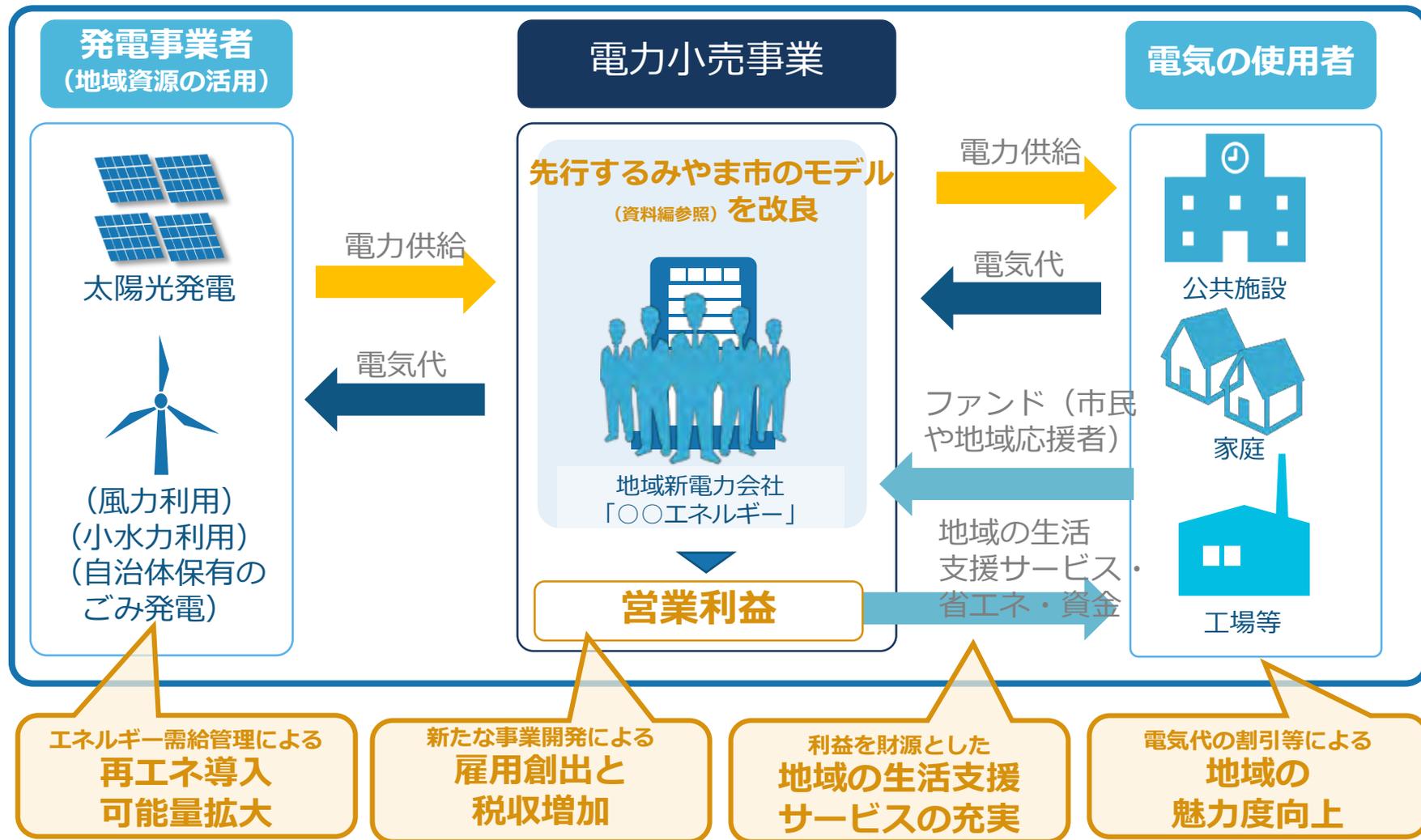
一般家庭・公共施設・工場など

電力販売の**新規参入が可能に**
新電力は料金や条件を**交渉で決定**

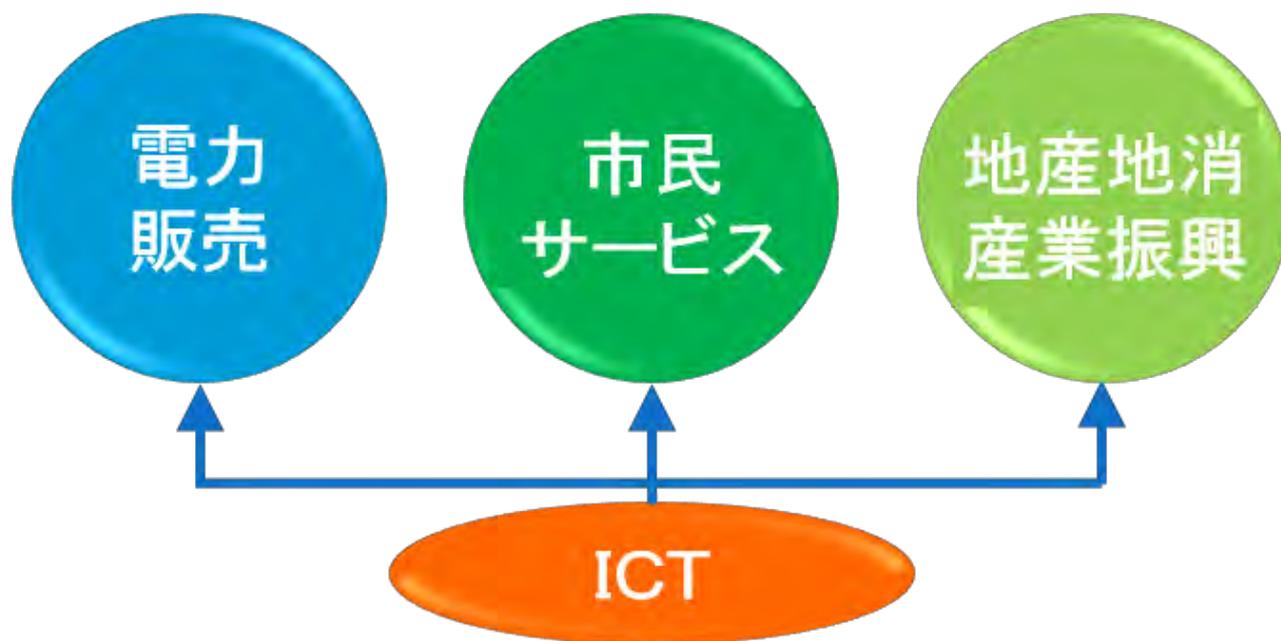
- 競争の促進による**電気料金の低減**
- 電力の消費者に、電力会社や料金メニューについて**より多くの選択肢**を提供
- 新たな**ビジネスチャンスの創出**
イノベーションが生まれる環境づくり



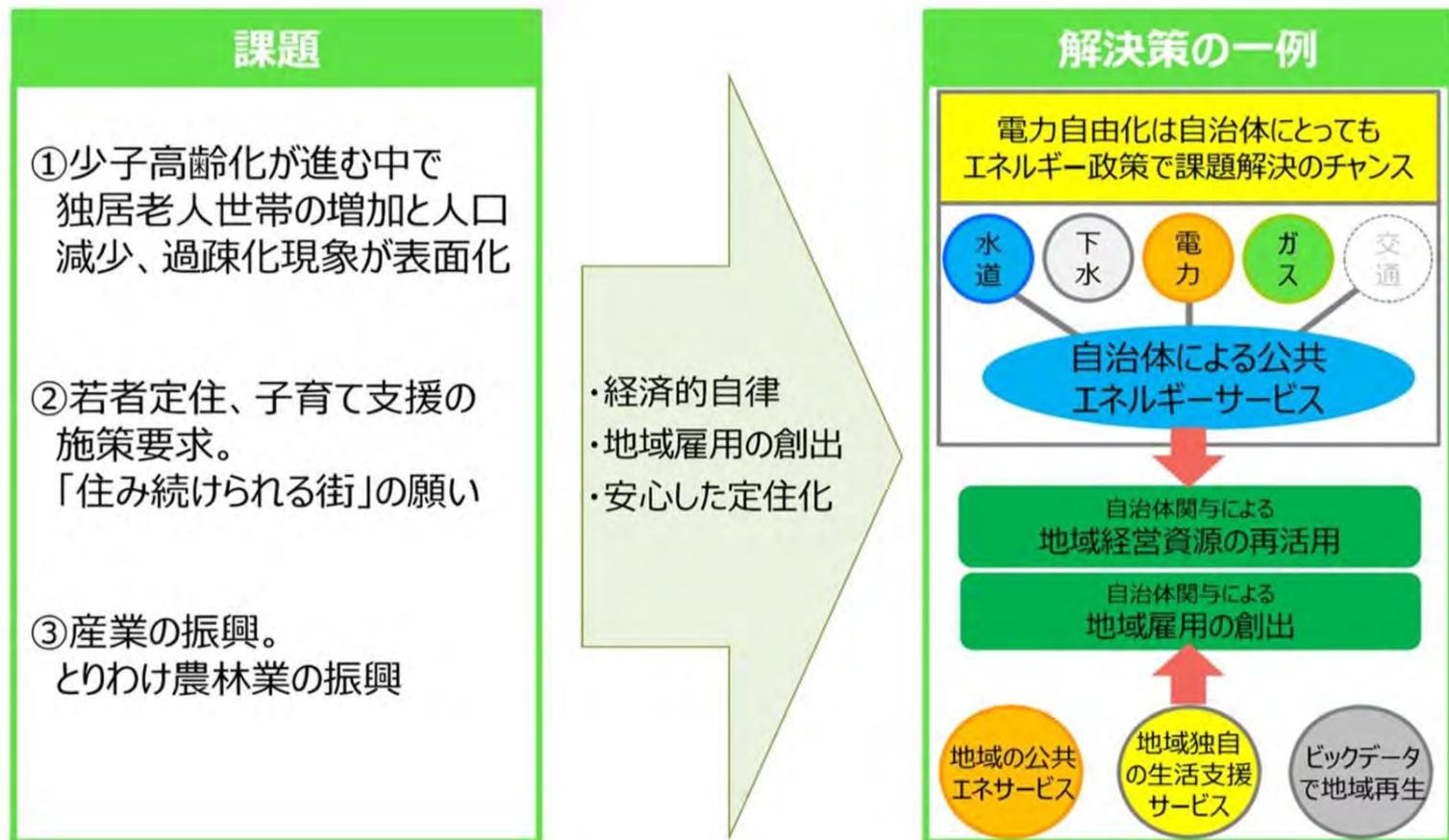
「〇〇市魅力いっぱいの地域エネルギー会社」 による地域活性化

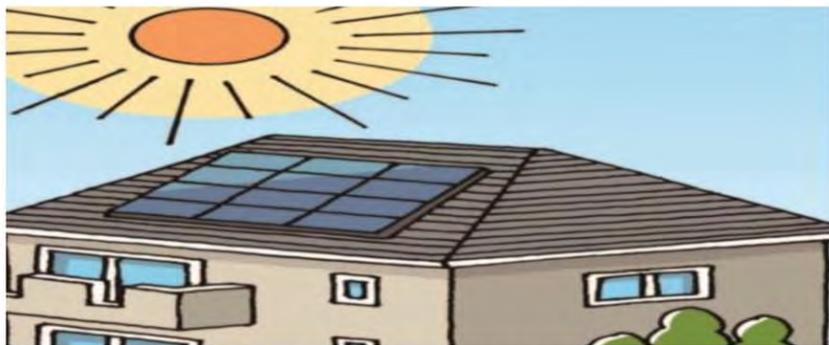


地域のための電力供給事業による様々な地域還元



- 自治体が抱える課題を「公共エネルギーサービス供給」により解決
- 新しく生まれるサービスを根付かせ、みやま市に新しいビジネスを生み雇用が生まれ、経済を活性化させる





住宅への設置促進は、さらに早くから行っている
平成22年4月、環境負荷の少ない循環型社会を構築するため
住宅用太陽光発電システムを設置する家庭に対し、補助金の
交付を始めた(1kWあたり3万円で、最大12万円まで市が応援
して普及促進)



その結果・・・
全国トップクラスの
普及率になった

約1,000世帯に設置済み/14,153世帯(約7%)

【参考値】

都道府県別住宅用太陽光発電システム普及率
(平成25年度末)

導入件数/一戸建て件数

全国平均5.6% 福岡県7.7% **みやま1,000/11,277=8.9%**

出典: 中国経済産業局

歩みのはじまり



メガソーラー設置場所:みやま市瀬高町高柳

メガソーラー施設の設置 5,000kW 2013年7月稼働

- ①市有地の活用(10ha)
- ②地域経済の環流への取組のはじまり
- ③市内商工業者への呼びかけによる特別目的会社の設立
- ④市長とみやまスマートエネルギー社長の出会い

◆ 循環のまち化

みやま市は農業・水産業が盛んであり、地域内の農水産物を使用した食品製造業が多いことから、地域産業と連携したバイオマス利活用を目指しています。

平成26年度に国の関係7府省が共同で募集する**バイオマス産業都市**として認定され、佐賀県佐賀市、大分県佐伯市とともに、九州で初の選定となりました。
平成30年秋にはバイオマス施設が完成予定です。

みやま市におけるバイオマス循環利用イメージ



(出典:平成26年7月 みやま市バイオマス産業都市構想)

2015年3月 みやま市は電力と自治体ならではのサービスを提供する会社を作りました



図 15 みやま市の人口推計（社人研推計）



※平成 22 年は実績値、平成 27 年以降は推計値



1. 地域問題の解決

地域課題を市民の創造力で解決する

2. エネルギーの地産地消

エネルギーセキュリティと地域経済活性化

- ①市内で生まれたエネルギーを市内で使う(エネルギーの地産池消)←輸入に頼らない自給自足
- ②市内で雇用を増やし経済を活性化(経済的自立)←高齢者にも働く機会を
- ③しあわせの見えるまちづくり(進化し続けるまち) ←みやまに住んでいて良かったと思うサービスの充実

